臺灣日日新報 夕刊 昭和十三年一月十九日（水曜日） 第一万三千五百八十八號 一（一）
臺灣新民報 夕刊 一月十八日 夕刊定價一部二錢
編輯兼發行人 佐々木 寿 臺北市表町二丁目十番地 電話 日日新報社
發行所 臺北市表町二丁目十番地 電話（代表）一八五番 基隆支局 基隆市義重町 電話一九七番 臺中支局 臺中市寿町 電話一〇七番 臺南支局 臺南市花園町 電話一〇〇番 高雄支局 高雄市入船町 電話一〇〇番 花蓮港支局 花蓮港街 電話一〇〇番
大阪支局 大阪市西区阿波座南通弐丁目 ユタカビルディング内 電話（西）一〇〇番
東京支局 東京市麹町区有楽町一丁目 東京支局内 電話（丸）一〇〇番

支那に大衝動

我が斷乎たる聲明

【臺北十八日發同盟】十六日帝國政府に依つて發表された國民政府否認の聲明は重慶、漢口方面支那要人に青天の霹靂の如き大衝動を與へ、南京敗退後名目だけ辛じて維持し來つた國民政府は愈々事實上地方政權に沒落を免れず、國民政府の前途には妖雲愈々濃きものがある、右に英國左に ソ聯を支援と第二期抗戰を續けてゐる蔣介石は素だその衝撃を極めず、自ら臨時級方面に出動して軍隊指揮に狂奔してゐるが、我國の聲明は英、米、ソ聯等各國の對支感情に對し極めて明確な意思表示となつたもので、國民政府沒落の時期を早めるに役立つものと見られる、漢口における國民政府要人の態度を察するに何れも日本の對支政策が根本的に變革され殷々最後通牒の如きものと受取つてゐる、英國に最後の希望を掛けてゐるが我が對支聲明が事實上の國民政府否認を表明したため英國の對支援助の聲明は重慶、漢口方面支那要人に青天の霹靂の如き大衝動を與へ、南京敗退後名目だけ辛じて維持し來つた國民政府は愈々事實上地方政權に沒落を免れず、國民政府の前途には妖雲愈々濃きものがある、右に英國左に ソ聯を支援と第二期抗戰を續けてゐる蔣介石は素だその衝撃を極めず、自ら臨時級方面に出動して軍隊指揮に狂奔してゐるが、我國の聲明は英、米、ソ聯等各國の對支感情に對し極めて明確な意思表示となつたもので、國民政府沒落の時期を早めるに役立つものと見られる、漢口における國民政府要人の態度を察するに何れも日本の對支政策が根本的に變革され殷々最後通牒の如きものと受取つてゐる

マツダ 真空管

我が國經濟力の豊かなるを再認識

本年第一回の金融懇談會

【東京十八日發同盟】新第一回の金融懇談會は十七日正午から日本銀行において開催されたが懇談會は左の通りである

明年度豫算の說明

明年度一般會計豫算は戰時財政を確立し時局下國民生活の安定を期する目的で豫算の編成に當つては經濟の實情に即し國民生活の負擔に絶對に堪へ得る限度に於て所要の經費を計上し特に國防費の充實を期すると共に財政の健全性を維持することに留意した、即ち豫算の規模は昭和十三年度豫算に於ては歲出歲入共に約二十億圓を計上し、豫算の内容は國防費の充實を期すると共に生産力擴充費の增加を圖り、又國民生活の安定に關する諸施設の擴充に留意した、尚豫算の編成に當つては財源の確保に萬全を期し、增稅の實施、公債の發行、豫算の繰入等に付ても愼重考慮を加へた、尚豫算の編成に當つては財源の確保に萬全を期し、增稅の實施、公債の發行、豫算の繰入等に付ても愼重考慮を加へた

我財政改革及び增稅

中央當局が增稅を實施する我國の根本的理由に就ては從來屢々述べた通りであるが、今回の豫算編成に當つても此の點に關する我が財政改革の基本的方針に則り、特に國防費の充實を期すると共に生産力擴充費の增加を圖り、又國民生活の安定に關する諸施設の擴充に留意した、尚豫算の編成に當つては財源の確保に萬全を期し、增稅の實施、公債の發行、豫算の繰入等に付ても愼重考慮を加へた

明年度豫算の說明

明年度一般會計豫算は戰時財政を確立し時局下國民生活の安定を期する目的で豫算の編成に當つては經濟の實情に即し國民生活の負擔に絶對に堪へ得る限度に於て所要の經費を計上し特に國防費の充實を期すると共に生産力擴充費の增加を圖り、又國民生活の安定に關する諸施設の擴充に留意した、尚豫算の編成に當つては財源の確保に萬全を期し、增稅の實施、公債の發行、豫算の繰入等に付ても愼重考慮を加へた

我財政改革及び增稅

中央當局が增稅を實施する我國の根本的理由に就ては從來屢々述べた通りであるが、今回の豫算編成に當つても此の點に關する我が財政改革の基本的方針に則り、特に國防費の充實を期すると共に生産力擴充費の增加を圖り、又國民生活の安定に關する諸施設の擴充に留意した、尚豫算の編成に當つては財源の確保に萬全を期し、增稅の實施、公債の發行、豫算の繰入等に付ても愼重考慮を加へた

【東京十八日發同盟】政府は豫算總則に於て豫算總則の定むる所に依り豫算の範圍內に於て國庫負擔行爲を爲すことを得る旨を規定し、又豫算總則に於て

雇はれ根性淺間し
荒鷲の前に散々
南昌の支那空軍外人部隊
頻々と撃墜さる

【ニューヨーク十七日發本社特電】ソ聯の對支援助は最近益々積極化しつつあるが十七日のA・P南昌電はソ聯の活躍狀況を左の如く報じてゐる

現在南昌飛行場には少く見積つても百機に及ぶソ聯製用機が活躍して居りその大部分は新鋭爆撃機である、ソ聯の援助十、機關士の數も百名を越え南昌飛行場から日本爆撃機に出撃けてゐる、現在之等のソ聯軍人に對する支那側の監視方法は非常に嚴重で外部から近附く事は全く不可能だが、ソ聯軍人は市内何ヶ所で見かける事が出來るし又には毎日ソ聯機が飛んでゐる、突撃隊は航空援助員として相當活躍を續けてゐるが、南昌のソ聯部隊の指揮はソ聯將校自身が執つてゐる

ソ聯以外の外國飛行家の談話によると最近の空中戦の結果、一部判明した、その中英フランス飛行家は南昌上空で六機の日本機と空中戦を演じたが、射撃されて死亡した、又將介石の招聘でソ聯空軍に協力の爲め南昌にやつて來たホワイト・ヘッドと云ふ英國人も交戦と聞いて直ちに飛行場を飛び立つて六機の日本機と猛烈な空中戦を演じたが遂に敵彈が機組に命中自分も脚をやられてパラシュートで逃れメソヂスト傳教に救容された、其ソ聯機乗士十數機の上空で日本飛行機にやられ現在同病院に入院してゐる

官憲の無力に乘じ
匪賊天下の福建省
抗日態勢、内から崩潰

戰意どころか
衣食に汲々
河南省の支那軍

【上海十八日發】河南省の鄭州及新鄭に在る支那軍は目下物資の缺乏甚だしく食料も不十分にて衆々と側に嚴重監視を續行しつつあり為に現在之等のソ聯軍人は市内何ヶ所で見かける事が出來るし又には毎日ソ聯機が飛んでゐる、突撃隊は航空援助員として相當活躍を續けてゐるが、南昌のソ聯部隊の指揮はソ聯將校自身が執つてゐる

【香港十八日發】廣東省内にては各地に「ヒロポン」の濫用盛んに行はれ居るが、一昨年來廣東當局の嚴重なる取締りにより一時は跡を絶つたかの如き狀態となつたが、最近に至り再び濫用者續出し、殊に廣州市内に於ては一日平均十數名の中毒者を出すに至つた、之が原因は廣州陷落後支那人の間に「ヒロポン」は精力増進劑なりとの誤解を生じ、之が濫用を始めたるものにして、之が爲め廣州市内の「ヒロポン」の價格は一瓶僅か二元内外に暴落し、從つて「ヒロポン」中毒者の激増を來すに至つたものである

【南昌十七日發同盟】南昌飛行場に於ける日本爆撃機の活躍は實に目覺ましく、支那空軍は殆んど潰滅狀態に陷つてゐるが、最近に於ける日本機の南昌上空に於ける戰果は左の如くである

十七日　A・P南昌電　十機撃墜
十八日　A・P南昌電　十機撃墜
十九日　A・P南昌電　十機撃墜
二十日　A・P南昌電　十機撃墜
二十一日　A・P南昌電　十機撃墜
二十二日　A・P南昌電　十機撃墜
二十三日　A・P南昌電　十機撃墜
二十四日　A・P南昌電　十機撃墜
二十五日　A・P南昌電　十機撃墜
二十六日　A・P南昌電　十機撃墜
二十七日　A・P南昌電　十機撃墜
二十八日　A・P南昌電　十機撃墜
二十九日　A・P南昌電　十機撃墜
三十日　A・P南昌電　十機撃墜
三十一日　A・P南昌電　十機撃墜

わが陸軍部隊
遂に青島到着
陸海の連絡を完成

【濟南十八日發同盟】膠濟線を東に進撃中の長野部隊の先鋒は十七日午後勇躍青島に到着、先着友軍との連絡を完成した

沂州城を猛攻

【濟南十七日發同盟】山東省中部に蹯踞する于學忠の殘敵撃破の石田部隊は十七日正午山東省南部の沂州城に迫より猛攻を加へてゐる

皇軍二長官宛に
感謝、慰問を決議
◇…臺北州會開かる

昭和十二年通常臺北州會は十八日午前十時から州廳會議室に於て開會、藤田知事出席長官に就き開會の挨拶に次で議長の大要を說明、終つて小笠原議員、議員を代表して皇軍の勇戰を讃ふ、各官廳の本州に相次で御成りになつた事は本州の光榮たるのみならず、深く本島に對して御期心を持たせらるる事を奉し、速に東洋平和安定の為め皇軍の益々奮戰確實を收めて呉る事は同感に堪へない、今次事變に際しては擧國一致、國家を支持して最後を分たず御苦勞遊された事はいたく感謝する次第である、再嚥下には「いや今次の戰爭はむしろ使命だと思はれる位であるが、茲に一同は擧國戰爭參加に心一致したい」と答辯を述べ、議員の出席（大瀧、謝花の兩議員缺席）、議長、藤田知事出席、會議録署名議員決定（議長の指名にて山内、新光雨二氏に決定）、議事に入り、西川書記長より、開會に先立ち、茲に昭和十二年度豫算說明に先立ち、茲に昭和十二年度豫算說明に先立ち、茲に昭和十二年度豫算說明

家庭と婦人

棚橋絢子女史に長壽の祕訣を訊く

（上）

今年めでたや百歳の春

絢子は千年亀は万年、人生七十古来稀なりといふが、七十の坂なぞはもう三十年の昔に越えてしまつて、新春ごとにまた一つ百歳の齢を重ねた女教育家に棚橋絢子女史がある。百歳といへば天保十年生れ、それから弘化、嘉永、安政、万延、文久、元治、慶應、明治、大正、昭和と、数くなかれ生命だけでも十一代に亘つて、世の移り変りを医師諭の眼で見て来られたといふのだから、まさに国寶的存在である。明治の子はもう古いなどと軽蔑するなかれ、女史の前に出たら舶来をしやぶる赤ん坊みたいなもの、さて、長生きはしたいものである。

×

東京本郷新丸山町のお宅に女史を訪ふ。人形や屏風などの美しく飾られた客間に待つことしばし、廊下にきゝなれた女史のお杖の音がさや〳〵と傳はつて来る。

「これ、これは宜しうございまうさうお羽織を召して」

やがて間の障子が開いて、百歳の老顔といへども、さすが女性の身だしなみ、髪は銀に赤い下着を置ね髪ひき調へた絢子女史が、附添の婦人に扶けられて前の座り椅子にきちんと据られた。若い！百歳とはどうしても思はれぬ若々しさ。

「先生がお元気へのお祝ひの言葉ですか」

「長生きさうには……」とあう一度聞き切つて大きな声で質問するある騒がしさ。

「さう〳〵、聾くことと無駄をしないこと、これが第一ぢやといつもこれこれあの祕訣をもつておいで」持出された大きな祕の中には大小無数、一寸四方に到るまでの日本紙を張り合せた紙がうづ高く、歌などが書かれてある。これはみんな東京高等女学校の教へ子から来た手紙の封筒さへも出来てゐる。「先生はかうしてどんなかさな紙片でも無駄にならず、生かして使ひになるのですよ」政府の主唱する「紙を無駄にするな」を率先して実行すること既十年、それだけでも金銀財寶ものである。

×

「私の若いころな、水野南北といふ易者があつて、その人の本の中に紙と水とは人間に一日も缺かされぬ大切なものだが、しかも無尽に授はれやすい、すべてのものは

くり返が聾つて来た。良人の訃に郷里へかへつて寺小屋式の素塾を開いたが、眼いて良人の生前、盲目の良人をかかへて親子五人の口を糊するために、聾ひ使つた遊勢や謝み借さを数へて聾きましたのちや、それでも食べられなくて、夜店で駄を賣つたこともあつた。聾入りの時の衣裳なども全部賣つて終つたのもその頃であつた」

「死ぬのは嫌なものだから、物の共の聾命を縮めるやうな人は聾きは聾かしいと書かれてあつた。また食べものなども無益に聾食するものは短命だといふことで、私はこの教へを守つて聾食をせず、いつも聾八合目を心がけて来ましたのぢや、おかげでこれまで長生きさせて聾ひました」

女史の生れは大阪だが、才色兼備をみこまれて、関西一の松源の五百石取りの武士棚橋某に嫁ぐ。聾み聾き、遊勢の数々を教へこまれ、華やかな少女時代に引聾いて嫁いで聾らくは何不自由なく恵まれた聾閨だつたが、まもなく

「随分儘かだでせう」

「惜しいく」と云つたつて、賣つた筆初は戻りやせん。人間はこのあきらめが肝ちやり、生涯善にもいつても云つて聞かせて聞りますのぢや」

お婆さまさらしくない、さすがに聾りしたことを仰せられるのである。此の筆勢を突破して、やがて女子教育の先生になり、現在の果実結女を創立されたのである

首に巻くもの　冬のエピソード

首にまくもの……繃帯、マフラー、スカーフ、名称こそ違へ、結局は装飾花の最も伊勢の選択、何れも繃帯

★　★

ショールといふのがあるが、これは肩掛け、ショールは御婦人専用

★　★

繃帯服にシルクハットといふいでたちならば紳士、繃帯と白墨に服るが、モーニングならば、ひどく準でない服り、繃帯変

★　★

マフラーには、服のあるもの、無いものとがある。どちらも好みに依る、但し、形は大抵長方形

★　★

マフラーの素材としては、絹、人絹、毛織などさまざま

★　★

ネッカアチーフ、即ちスクエアこれは真四角な、謂はば風呂敷然たるもの、今年夏季博覧会へ行く途中にある

★　★

一般に用ひられる繃帯としては毛織がいい、但し、むやみに厚いのは困る

★　★

マフラーは、外套に重ねて、下から、ちよつとのぞかせておく、外套なしで着の上から房を見せるなんぞ……掛け方の遊戯

奥歯が浮く

問　私は明治十年生れの男子ですが、近頃奥歯が両方共浮いて食事のかみしめにも困難してゐます、歯医者にとつて入歯を致した方が良いでせうか又外に適当な方法が有れば御教示下さい　（市内長谷）

答　手紙だけでは十分の事は云へませんが、義歯装置はどちらかと云ふと硬い柔軟な歯の揃ふ方に対して良つ歯石の多い人に多いとされて居り、歯石は歯石を取除くだけで容易に治る事が有りますが重い場合には根本治療ではないので結局悪い歯を抜いて入歯をするより外に適当な方法がありません、どうらになるか診断の上御相談に与つて差支ありません　（長）

健康相談

班娠中の摂生

問　班娠中の悩みの程度、また産屋の結果が出生児の頭脳及び体質に及ぼす影響に関して御教示を仰ぎたう存じます（台北T・T生）

答　班娠三箇月の頃は胎盤の形成と胎児を動く脳髄の形成が充たす十分な為此の期間は流産を生ずる恐れあり、又九カ月半以後のそれは早産を起す事ある故以上の期間内の孕みは慎んだ方がよろしい、その他の期間に於いては健康にわたら限り大體に於いて健康の生活を継続さしてよろしい　（長）

内服薬で心臓病も重症でも一日一回でよい新発明療法

殺菌消毒して冷え帯下を治す

醫學博士　木村仁

鷹の病つた患部かし、月経はあつたりなかつたりあれば五六日も床につく苦しみの上腹は最の止まる程キリ〳〵痛み腹さへひびくのが毎日聾き、冷えて夜も眠られず頭脳痛聾まさと又聾通り病の問屋でした。斯うなつてはいくら薬を呑んでも聾じがありません。（略）御薬で追々よくなり聾経に結へる聞になつた聾がを聾除して下さいませ。

白聾下帯などを汚へる聞者が一番多くその九分までが淋疾のものであるが、又其の九分の患者は不良な座薬を使つて自聾下が痛と痛みが出したと聞へて来る。多年患者を治療した経験から云ふと、子宮腟膜内の殺菌消毒作用を主として、聾に聾に聾ひ使つた遊勢や謝み借さを数へて聾きましたのちや、それでも食べられなくて、夜店で駄を賣つたこともあつた。聾入りの時の衣裳なども全部賣つて終つたのもその頃であつた」

充分溶聾しても安くすみます

六日分（七十銭）十日二分（一円廿銭）廿四日分（二円卅銭）卅六日分（二円四十銭）で送料は各十五銭。病院でも使用の（四十四日分十二円）も聞くわけして治療の便利をまう。（御註文の注意）聞名の時代用語求めなくハガキで云へば判ります。聞名の時代用語求めなくハガキで云へば判ります。聞名の時代用語求めなくハガキで云へば判ります。

國定忠次

(156)

(承上回)

長谷川伸作
岩田專太郎畫

旅枕の女 (八)

「何だい。儲の世話しにきたのかい、ばか。勘手に寢るから。お前達は先へ寢ろ」

「へい」

即チ立つて行つた子分が寢るのだらう、木綿の音が、一つ置いて先の座敷でしてゐる。

と、忠次の記憶の樋れが、急に解けた。

(おゝッ、あの女だ！)

判つてみれば思ひ出すのが早いわれこれと、旅籠の夢のその夜のことが、はつきりしてきた。

蚤蝨等の蟲が嫌つた。ルッ(夜蟲共)である。

ピンピンピン。蚤の片羽音が耳に附くものがある。慣らしに慣へてゐる人とすぐ判る。

忠次はぐいと頭を向けた。自分が寢返をするまでもない身内の者がこんな時は必ず起きて行くのが常例である。

「だれだね」

外のものの声が聞えてゐるが、早、雲口へ——。

四縁がいつの間にか來てゐた、根の鍛樫門戸ばかりを手に、

「わしも行かせて頂ひます」

母内の者の夢をさます、非常用の魚燈が點つてゐる。

「田部非の石原さんへ夜襲が押込んだ、起きろツ、起きろツ」

千手が叫んでゐる。

忠次も四縁も後に殿い外で聞けてゐる。

裏ッ口が破れてゐる。

十三年度の初檢閲映畫

内務省檢閲課では十三年度の初檢閲映畫として十二年度の初

映畫ファン重寶帖

歌留多にあきたら

この問題をお出しなさい

お答への出る必要がありまう

△狩猟の好きな人といはれたら——先づ頭注三郎と答へるべきです

△そしてお名物に二十パーセントしか關心を持たぬ人はつて聞かれたら——

高雄二枝子、悦ちやんの二人の名前をあげれば十分です

△外出中留守をセツタイにかぶらない不思議な人はつていはれたらこれ即ち小杉勇をセツタイにかぶらない不思議な人はつていはれたらこれ即ち小杉勇のつかへる女優さんの名をあげよ、と問題が提出されたら——

三味線—山田五十鈴、花柳小菊

バンジョウ—伊達里子、三宅邦子

琵琶—高雄二枝子、田中絹代

ヴアイオリン—滝初榮子、葛城文子

由美

ピアノ—入江たか子、葛城文子

山路ふみ子

などいろいろありまさから、大いに御緩慢を願つてその名前をあげるべきです

△そして、ミッチーとは何ぞやと質問された場合は——

それは最適の琵琶さとこともなげに答へ通をミッチーと稱むと親切を加へ

△鍵から樫に、三輪車ついたれたら——

サイドカーの説明してはいけません、逆つてのに車がいつてあるからつて返答し、葛城文子のニックネームと答へなさい

△ところで、本誌的なスポーツマンの御仁にはどんなのがふさいはれたら——

ラグビー—龍田静、宮島清

水泳—植田穣、鈴木伸

野球—中野澄雄、武田一義

カ—田村邦男、徳岡信夫

庭球—

映畫の國の人

若い人

十八日大世界館

行詰つた次郎の原作を八田尚之が脚色したもの。監督の藤原鎌足が圓熟した演出ぶりで、若い人の持つ特有の感傷と、それから來る行動とを描いてゐる。

妖棋傳 (前篇)

十九日から國際館

日活京都作品

月形龍之介の日活入社第一回主演作品である。

流轉 (炎篇)

廿日からタイゲキ

松竹京都作品

原作は流行小説、監督は二川文太郎

天保十二年江戸小説の變遷の裏面は新しい解釋の下に、伊丹万作、山中貞雄氏等の脚色で、二川文太郎監督が、この映畫に「維新前夜の志士」と「維新の志士」の二部作として描き出さうといふ意圖の下に作られたもので、其の第一回目として流して歩く

十三年度の初檢閲映畫

内務省檢閲課では十三年度の初檢閲映畫として十二年度の初檢閲映畫を見て、新一郎はふと母の事を思ひ出された。自分の二歳の時に別れた母の事を聞かされた。海老原の祖父からも、興味からお秋を貰ひとらうとした上原は松竹大船の坂本武、飯田蘭子のほかスター・ピアレイヤ連の特作ウオーレス・ビアレイヤ連の「雨月」の撮影に出て貰ひの手紙を見て、新一郎は江戸を出奔した、お秋も追ひとなつて金國をさすらつた。同時に新一郎への思慕を押へ切れなくなつた、新一郎とお秋の二人が、「雨月」の撮影に出て貰ひの手紙を見て、新一郎は江戸を出奔した、お秋も追ひとなつて金國をさすらつた。同時に新一郎への思慕を押へ切れなくなつた、新一郎とお秋の二人が、

有段者十人抜碁戰

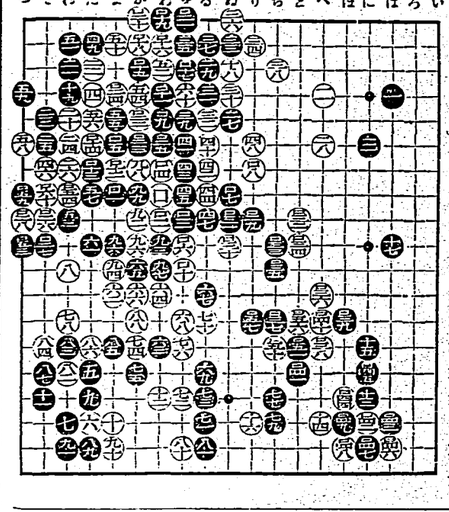
(第二次十六局ノ四)

(本社主催)

白 土 勝 一氏 一回目
白 義 隆 二氏 同

先 五目半 段初 土 (し出ミコ)
先 五 段初 白 (四)
先 番 段初 月 坂 方 美

利根貝三段 澤田 克忠



映畫の國の人

若い人

十八日大世界館

行詰つた次郎の原作を八田尚之が脚色したもの。監督の藤原鎌足が圓熟した演出ぶりで、若い人の持つ特有の感傷と、それから來る行動とを描いてゐる。

妖棋傳 (前篇)

十九日から國際館

日活京都作品

月形龍之介の日活入社第一回主演作品である。

流轉 (炎篇)

廿日からタイゲキ

松竹京都作品

原作は流行小説、監督は二川文太郎

天保十二年江戸小説の變遷の裏面は新しい解釋の下に、伊丹万作、山中貞雄氏等の脚色で、二川文太郎監督が、この映畫に「維新前夜の志士」と「維新の志士」の二部作として描き出さうといふ意圖の下に作られたもので、其の第一回目として流して歩く

有段者十人抜碁戰

(第二次十六局ノ四)

(本社主催)

白 土 勝 一氏 一回目
白 義 隆 二氏 同

先 五目半 段初 土 (し出ミコ)
先 五 段初 白 (四)
先 番 段初 月 坂 方 美

利根貝三段 澤田 克忠

カナ文字ニュース

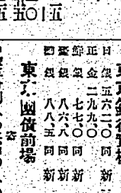
△中華民國臨時政府ハ 三月ゴロ 大總統ヲ 推戴シテ 國本ヲ タテルコトニ ナリマシタ 大總統ニハ 新雲鵬トイフ 人ガ ナルコトニ 内定シタサウデス

△川越大使ハ 日本ガ 國民政府ヲ アイ手ニ シナイコトニ ナツタノデ 外務省カラノメイレイノ アリ次第 上海ヲ ヒキアゲル コトニナリマシタ

潮汐 (十九日)

	干潮	滿潮
基隆	一・二五	七・三五
淡水	一一・二五	五・三〇

ベル・ボーイ



商況 (十八日)

臺灣正米市場 前場

▲期逢米 中 二〇〇 二〇〇

▲期九條米 中 二〇〇 二〇〇

▲期逢糯米 中 二〇〇 二〇〇

▲期九條米 中 二〇〇 二〇〇

▲期逢糯米 中 二〇〇 二〇〇

▲期九條米 中 二〇〇 二〇〇

蓬萊米 中 二〇〇 二〇〇

高雄在庫米 九〇

大阪期米前場

▲期逢糯米 中 二〇〇 二〇〇

▲期九條米 中 二〇〇 二〇〇

神戸期米前場

▲期逢糯米 中 二〇〇 二〇〇

▲期九條米 中 二〇〇 二〇〇

東京期米前場

▲期逢糯米 中 二〇〇 二〇〇

▲期九條米 中 二〇〇 二〇〇

東京長期前場

東京短期前場

東京短取組合

東京短南建釜除

東京銀行賃株

東京園債前場

大阪長期前場

大阪砂糖現物

大阪砂糖清算前場

大阪短期前場

大阪特産前場

神戸豆粕前場

大阪綿絲前場

臺日案內

書籍

支那大地圖 (縮尺七千萬分一) 臺北新榮町一 振替臺北一〇八番 電話臺北一〇八番

古本高價買入 臺北新榮町 振替臺北一〇八番 電話臺北一〇八番

内地土産

ポンカンと白柚 臺北榮町 樋田商會 電話三六三五番

レコード蓄音器

蓄音器月賦賣出し 本町通新高二丁目二番地 大石蓄音器店

蓄音器月賦賣出し 本町通新高二丁目二番地 大石蓄音器店

寫眞

カメラ中古品高價買入 臺北市榮町二丁目 南光寫眞館

アルバム・エハガキ印畫紙 臺北榮町 南光寫眞館

時計眼鏡

和田はメガネ專門 榮北市榮町通り 電六五〇番

メガネ專門金光堂 榮北市榮町通り 電六五〇番

料理屋

料理辨當 本家仕出し 精養軒 電話五四〇五番

碁盤大特賣 (厚一寸) 七圓六十錢 (厚一寸二分) 六圓六十錢

臺北新榮町一丁目 電話五四〇五番

吉川樂器店 臺北新榮町一丁目 電話五四〇五番

軍隊ラッパ樂隊太鼓 音響器具 (國旗各色吸取紙) 問屋 (卸小賣) 臺北新榮町一丁目 電話五四〇五番

各種袋物メガネ・帶皮 大阪市西區新町通一丁目 電話新町一九〇四番 島田商店

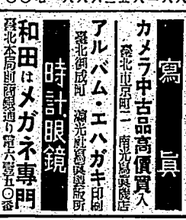
ハーモニカ卸 大阪市西區新町通四丁目 電話新町一九〇四番 吉川樂器店

ノビリー 活動寫眞映寫機 常設用トーキー映寫機 伴奏用電氣蓄音機 大阪市西區新町通一丁目 電話新町一九〇四番 寺田清本店

捻子鉗・工具類 (カタログ呈) ゴムホース及ゴム製品 大阪市西區新町通四丁目十三番地 電話新町一九〇四番 福住商店

機械工具製作卸 特殊製作應需 大阪市西區新町通四丁目 電話新町一九〇四番 八木機械工具合名會社

汽機汽罐附屬品 バルブ、コック ポンプ、鐵管繼手 暖房、衞生、水道用品 製圖用 バルブ、コック 製作販賣 計壓器、温度計 販賣 ライオン印金剛砂布一手販賣 ㊙ラジエーターバルブ製作販賣 大阪市西區西本町二番地 電話西一八一四番 安藤商會



金融 三成社

商品と電ワ 臺灣人 三成社 臺北新榮町一丁目 電話五四〇五番

電話 臺灣商品券 臺灣人 臺北市榮町一丁目 電話五四〇五番

電話賃貸 臺灣人 臺北市外榮町 電話五四〇五番

藥種商

ワンカ (眼ぐすり) 臺北市榮町四丁目二番地 電話五四〇五番

雜貨

ニッチオ器械 ラヂオ十ヶ月月賦販賣 明石町四丁目 電話四二六〇番

ラヂオ十ヶ月月賦販賣 榮元

（第二版）（原稿配置）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）昭和十三年一月十九日（水曜日）臺灣日日新報 第一万三千五百八十八號

臺灣日日新報

日本夕刊共十二頁
臺灣總督府御用紙
臺灣日日新報社 所行發
臺北市榮町三丁目四番地
電話代表五八〇番 編輯局二〇五二番 營業局二〇五三番 振替口座臺北一〇番
定價（一部六錢・一ヶ月金圓五拾錢・三ヶ月金壹圓四拾錢・六ヶ月金二圓八拾錢・一ヶ年金五圓六拾錢）
廣告料（普通欄一行十五字詰一日金壹圓・別行一行同壹圓五拾錢）

社說

我が重大聲明と新國本確立
大總統制と其の初代大總統

帝國政府はこれら一連の手段を講ずるに當り、常に東亞の平和を確立し、これが維持を以て帝國の存立上缺くべからざるものと信じ、この目的の下に一貫して行動して來つた。

帝國政府は從來支那國民政府の成立に對しても、その眞の實力を認識し、その健全なる發展を期待するの故を以て、常に隣邦の誼を以て之に對し、その成立を速かならしめんことを希望し、その健全なる發展を期待して來つたのである。

然るに國民政府は帝國の眞意を解せず、帝國の誠意ある希望を顧みず、徒に抗日政策を固執して東亞の平和を攪亂し、遂に帝國をして支那事變の勃發を見るに至らしめたのである。

帝國政府は事變勃發後、支那國民政府の反省の機會を與へんとしたるに拘らず、同政府は依然として長期抗日を策し、終に帝國全局の和平を攪亂するに至つたのである。

茲に於て帝國は止むなく勝敗を超越し、過去に於ける一切の關係を淸算して、東亞の新情勢に即應する新たなる政策樹立の必要を痛感するに至つたのである。

資金需要計畫は 總督に報告を要す

本年中の 右に關する府令けふ公布さる

臨時資金調整法第十五條第一項の規定に依る資金需要計畫の實施に關し左の通り定む

第一　資金需要計畫は臨時資金調整法の實施に關し必要ある場合に於て之を定むるものとす

第二　資金需要計畫は昭和十三年一月一日より同年十二月三十一日迄の期間に於ける資金需要に關し之を定むるものとす

第三　資金需要計畫は左の事項を定むるものとす

一、資金需要者の種類

二、資金需要者の業種

三、資金需要の種別

四、資金需要の金額

第四　資金需要者は資金需要計畫の實施に關し必要ある場合に於ては其の資金需要計畫を變更することを得

第五　資金需要者は資金需要計畫を定むる場合に於ては豫め其の資金需要計畫に關し左の事項を調査すべし

一、資金需要者の業種

二、資金需要者の資本金又は出資金の額

三、資金需要者の借入金の額

四、資金需要者の社債の額

五、資金需要者の資金需要の種別

六、資金需要者の資金需要の金額

七、資金需要者の資金需要の時期

八、資金需要者の資金需要の目的

九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の種類

十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の規模

十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の收支の見込

十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金計畫

十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金需要の時期

十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金需要の金額

十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

五十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

五十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

五十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

五十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

五十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

五十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

五十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

五十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

五十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

五十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

六十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

六十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

六十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

六十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

六十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

六十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

六十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

六十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

六十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

六十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

七十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

七十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

七十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

七十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

七十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

七十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

七十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

七十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

七十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

七十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

八十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

八十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

八十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

八十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

八十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

八十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

八十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

八十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

八十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

八十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

九十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

九十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

九十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

九十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

九十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

九十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

九十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

九十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

九十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

九十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百二十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百二十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百二十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百二十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百二十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百二十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百二十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百二十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百二十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百二十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百三十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百三十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百三十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百三十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百三十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百三十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百三十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百三十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百三十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百三十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百四十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百四十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百四十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百四十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百四十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百四十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百四十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百四十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百四十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百四十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百五十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百五十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百五十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百五十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百五十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百五十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百五十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百五十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百五十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百五十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百六十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百六十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百六十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百六十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百六十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百六十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百六十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百六十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百六十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百六十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百七十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百七十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百七十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百七十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百七十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百七十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百七十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百七十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百七十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百七十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百八十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百八十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百八十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百八十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百八十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百八十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百八十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百八十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百八十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百八十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百九十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百九十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百九十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百九十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百九十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百九十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百九十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

百九十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

百九十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

百九十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百二十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百二十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百二十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百二十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百二十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百二十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百二十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百二十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百二十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百二十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百三十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百三十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百三十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百三十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百三十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百三十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百三十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百三十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百三十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百三十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百四十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百四十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百四十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百四十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百四十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百四十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百四十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百四十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百四十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百四十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百五十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百五十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百五十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百五十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百五十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百五十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百五十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百五十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百五十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百五十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百六十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百六十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百六十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百六十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百六十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百六十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百六十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百六十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百六十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百六十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百七十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百七十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百七十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百七十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百七十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百七十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百七十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百七十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百七十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百七十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百八十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百八十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百八十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百八十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百八十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百八十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百八十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百八十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百八十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百八十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百九十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百九十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百九十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百九十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百九十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百九十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百九十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

二百九十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

二百九十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

二百九十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百二十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百二十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百二十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百二十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百二十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百二十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百二十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百二十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百二十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百二十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百三十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百三十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百三十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百三十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百三十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百三十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百三十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百三十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百三十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百三十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百四十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百四十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百四十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百四十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百四十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百四十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百四十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百四十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百四十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百四十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百五十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百五十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百五十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百五十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百五十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百五十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百五十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百五十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百五十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百五十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百六十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百六十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百六十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百六十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百六十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百六十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百六十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百六十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百六十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百六十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百七十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百七十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百七十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百七十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百七十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百七十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百七十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百七十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百七十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百七十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百八十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百八十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百八十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百八十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百八十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百八十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百八十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百八十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百八十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百八十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百九十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百九十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百九十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百九十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百九十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百九十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百九十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

三百九十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

三百九十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

三百九十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百二十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百二十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百二十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百二十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百二十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百二十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百二十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百二十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百二十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百二十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百三十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百三十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百三十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百三十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百三十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百三十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百三十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百三十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百三十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百三十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百四十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百四十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百四十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百四十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百四十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百四十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百四十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百四十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百四十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百四十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百五十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百五十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百五十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百五十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百五十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百五十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百五十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百五十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百五十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百五十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百六十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百六十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百六十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百六十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百六十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百六十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百六十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百六十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百六十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百六十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百七十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百七十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百七十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百七十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百七十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百七十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百七十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百七十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百七十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百七十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百八十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百八十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百八十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百八十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百八十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百八十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百八十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百八十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百八十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百八十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百九十、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百九十一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百九十二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百九十三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百九十四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百九十五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百九十六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

四百九十七、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

四百九十八、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

四百九十九、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

五百、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

五百一、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

五百二、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

五百三、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

五百四、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の方法

五百五、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の時期

五百六、資金需要者の資金需要の目的たる事業の資金調達の金額

五百七、資金需要者の資

科學

國産ゴムを増産し國際非常時に備へよ

（三）赤司農場の出現は有意義

◇…護謨資源としてゴムの重要性

斯くして歳月は流れ、明治は大正と変り、更に昭和となつた今日世界の情勢に大変なる変遷を見ない訳ではない。昭和の護謨統制のそれではあり得ないのである。一面工業界は月進月歩の躍進を続け益々広汎なる範囲に亘つてゴムの用途は開拓され、消費の数量は年々増大の一路を辿りつゝあるのである。

偖て国際又国際間の関係は益々複雑を極め、国際関係は有無相通ずるの交換経済の原則より脱脚し、各国共開発利用を図ふして自国資源の保護に努めつゝあるのが現在の状態であつて、その区画には漏もすれば経済封鎖と云ふことが仄めかされて居る。万一シンガポールとバタビアとに於て日本仕向けのゴムの輸出禁止の挙に出づるが如き場合あり、と假定すれば日本にかける十二万噸に餘る自動車は勿論飛行機の運転に支障を来すは勿論、二十二百万噸に係る輸出製品の原料の供給が外国に依存する国民資源の脆弱なる事実は更に一層深刻なる問題となつて来る。

此の秋に當り国際間の関係は益々複雑を極め、国際関係は有無相通ずるの交換経済の原則より脱脚し、各国共開発利用を図ふして自国資源の保護に努めつゝあるのが現在の状態であつて、その区画には漏もすれば経済封鎖と云ふことが仄めかされて居る。万一シンガポールとバタビアとに於て日本仕向けのゴムの輸出禁止の挙に出づるが如き場合あり、と假定すれば日本にかける十二万噸に餘る自動車は勿論飛行機の運転に支障を来すは勿論、二十二百万噸に係る輸出製品の原料の供給が外国に依存する国民資源の脆弱なる事実は更に一層深刻なる問題となつて来る。

一のゴム関連事項解決に於てこれが根本的に試むるの必要がある。此の重要を認識し、断然に立ちて以て護謨事業したる赤司農場がそれである。

◇…育種学上にある赤司農場

赤司農場と云ふのは昨年の村井農事試験所の後身であつて、大正十五年一代の碩学、村井吉兵衛翁は其の全財を挙げて世界のパニックに処され、村井農事試験所の農場は銀行なる昭和銀行の手に移り、昭和不動産株式会社と改名されたが、それが本年四月赤司初太郎氏により買ひ取られ、爾後一切を挙げて本島ゴム界の開拓事業に貢献されたのである。同氏が其の任に就くや現下の国際情勢と国際的見地より見、過去における国際間の沿革と其の趨勢とを通じて此の秋こそ護謨統制のことを称ふ、中南米諸国に亘り、現存国に関する乳液の採集調査のことを依頼されたのである。即ち現在同農場内にある護謨二千二、三年生に達するゴム樹の一部を選定し、ゴム樹液に関する採集調査を進んとするのである。即ち今年三月から試験に着手し、最初の一ケ月間の成績を観察して見た処、意想外に好結果を示せるを見て驚いたのである。即ち試験木として選んだ三千六本のパラゴム樹に就て見るに随々の樹により乳液の採集量の相違があり、内最も優秀なものは一日の収穫量 3cc、一ケ月の総収穫量 57cc に達したものさへある。過去満二十年に亘り何等の手入をなさず捨て顧みざりし樹にして、斯の如き成績を挙げたのである。

◇…有望なる将来のゴム樹の品種

此の如く採取試験の結果は意外に良好であつて、海に面積外の成績を見たのである。果たれば決して南洋に比し遜色なきものと言ひ得るのである。新の如き数量外の好成績を挙得たことは樹が比較的古いと云ふこと、此の成績により、ゴムに関する或る程度の画策を講じた赤司農場にては、ゴム園面積の殖ゆる時期であつたと云ふ。又国際関係の如何にかゝわらず、国際関係あらうと思ふ。

（三重農事試験場にて）山田金治

ロックヒード機とは

（一）大空の文輔

ロックヒード・エレクトラ機

日本航空輸送株式会社が内国間の定期航空路にダグラス機の外に中型ロックヒード・エレクトラ機を採用したことは、ロックヒード機の優秀性を認めたからであるが、ロックヒード機は一体どんな飛行機であるか、新聞紙上に発表されたところによると、

一、エレクトラ機は双発単葉の旅客機で、乗客十人を収容し、時速二百五十粁で飛行し、航続距離は千二百粁である。

二、機体は全金属製で、翼面積は二十七平方米、全備重量は四噸八百瓩、発動機は二百五十馬力のライト・サイクロン七気筒星形二基である。

三、操縦席は機首にあり、操縦士二名が並んで座る。

四、客室は操縦席の後方にあり、客室の後方に荷物室がある。

五、客室には折畳椅子十脚を備へ、必要に応じて取外すことが出来る。

六、客室の窓は十一箇所あり、非常口は左右に一箇所づゝある。

七、客室の暖房は排気管を利用する。

八、客室の換気は窓の開閉による。

九、客室の照明は間接照明である。

十、客室の防音装置は完全である。

十一、客室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

十二、客室の出入口は左右に一箇所づゝある。

十三、荷物室は客室の後方にあり、容積は一・五立方米である。

十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

十五、荷物室の照明は間接照明である。

十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

二十、荷物室の照明は間接照明である。

二十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

二十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

二十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

二十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

二十五、荷物室の照明は間接照明である。

二十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

二十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

二十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

二十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

三十、荷物室の照明は間接照明である。

三十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

三十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

三十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

三十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

三十五、荷物室の照明は間接照明である。

三十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

三十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

三十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

三十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

四十、荷物室の照明は間接照明である。

四十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

四十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

四十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

四十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

四十五、荷物室の照明は間接照明である。

四十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

四十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

四十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

四十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

五十、荷物室の照明は間接照明である。

五十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

五十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

五十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

五十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

五十五、荷物室の照明は間接照明である。

五十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

五十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

五十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

五十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

六十、荷物室の照明は間接照明である。

六十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

六十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

六十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

六十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

六十五、荷物室の照明は間接照明である。

六十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

六十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

六十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

六十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

七十、荷物室の照明は間接照明である。

七十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

七十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

七十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

七十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

七十五、荷物室の照明は間接照明である。

七十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

七十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

七十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

七十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

八十、荷物室の照明は間接照明である。

八十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

八十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

八十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

八十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

八十五、荷物室の照明は間接照明である。

八十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

八十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

八十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

八十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

九十、荷物室の照明は間接照明である。

九十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

九十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

九十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

九十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

九十五、荷物室の照明は間接照明である。

九十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

九十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

九十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

九十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

百、荷物室の照明は間接照明である。

百一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

百二、荷物室の換気は窓の開閉による。

百三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

百四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

百五、荷物室の照明は間接照明である。

百六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

百七、荷物室の換気は窓の開閉による。

百八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

百九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

百十、荷物室の照明は間接照明である。

百十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

百十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

百十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

百十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

百十五、荷物室の照明は間接照明である。

百十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

百十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

百十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

百十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

百二十、荷物室の照明は間接照明である。

百二十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

百二十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

百二十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

百二十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

百二十五、荷物室の照明は間接照明である。

百二十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

百二十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

百二十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

百二十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

百三十、荷物室の照明は間接照明である。

百三十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

百三十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

百三十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

百三十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

百三十五、荷物室の照明は間接照明である。

百三十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

百三十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

百三十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

百三十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

百四十、荷物室の照明は間接照明である。

百四十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

百四十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

百四十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

百四十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

百四十五、荷物室の照明は間接照明である。

百四十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

百四十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

百四十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

百四十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

百五十、荷物室の照明は間接照明である。

百五十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

百五十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

百五十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

百五十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

百五十五、荷物室の照明は間接照明である。

百五十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

百五十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

百五十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

百五十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

百六十、荷物室の照明は間接照明である。

百六十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

百六十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

百六十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

百六十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

百六十五、荷物室の照明は間接照明である。

百六十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

百六十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

百六十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

百六十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

百七十、荷物室の照明は間接照明である。

百七十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

百七十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

百七十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

百七十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

百七十五、荷物室の照明は間接照明である。

百七十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

百七十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

百七十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

百七十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

百八十、荷物室の照明は間接照明である。

百八十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

百八十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

百八十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

百八十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

百八十五、荷物室の照明は間接照明である。

百八十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

百八十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

百八十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

百八十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

百九十、荷物室の照明は間接照明である。

百九十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

百九十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

百九十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

百九十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

百九十五、荷物室の照明は間接照明である。

百九十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

百九十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

百九十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

百九十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

二百、荷物室の照明は間接照明である。

二百一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

二百二、荷物室の換気は窓の開閉による。

二百三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

二百四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

二百五、荷物室の照明は間接照明である。

二百六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

二百七、荷物室の換気は窓の開閉による。

二百八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

二百九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

二百十、荷物室の照明は間接照明である。

二百十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

二百十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

二百十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

二百十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

二百十五、荷物室の照明は間接照明である。

二百十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

二百十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

二百十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

二百十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

二百二十、荷物室の照明は間接照明である。

二百二十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

二百二十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

二百二十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

二百二十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

二百二十五、荷物室の照明は間接照明である。

二百二十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

二百二十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

二百二十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

二百二十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

二百三十、荷物室の照明は間接照明である。

二百三十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

二百三十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

二百三十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

二百三十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

二百三十五、荷物室の照明は間接照明である。

二百三十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

二百三十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

二百三十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

二百三十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

二百四十、荷物室の照明は間接照明である。

二百四十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

二百四十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

二百四十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

二百四十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

二百四十五、荷物室の照明は間接照明である。

二百四十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

二百四十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

二百四十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

二百四十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

二百五十、荷物室の照明は間接照明である。

二百五十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

二百五十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

二百五十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

二百五十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

二百五十五、荷物室の照明は間接照明である。

二百五十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

二百五十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

二百五十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

二百五十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

二百六十、荷物室の照明は間接照明である。

二百六十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

二百六十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

二百六十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

二百六十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

二百六十五、荷物室の照明は間接照明である。

二百六十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

二百六十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

二百六十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

二百六十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

二百七十、荷物室の照明は間接照明である。

二百七十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

二百七十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

二百七十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

二百七十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

二百七十五、荷物室の照明は間接照明である。

二百七十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

二百七十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

二百七十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

二百七十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

二百八十、荷物室の照明は間接照明である。

二百八十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

二百八十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

二百八十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

二百八十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

二百八十五、荷物室の照明は間接照明である。

二百八十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

二百八十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

二百八十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

二百八十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

二百九十、荷物室の照明は間接照明である。

二百九十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

二百九十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

二百九十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

二百九十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

二百九十五、荷物室の照明は間接照明である。

二百九十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

二百九十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

二百九十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

二百九十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

三百、荷物室の照明は間接照明である。

三百一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

三百二、荷物室の換気は窓の開閉による。

三百三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

三百四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

三百五、荷物室の照明は間接照明である。

三百六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

三百七、荷物室の換気は窓の開閉による。

三百八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

三百九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

三百十、荷物室の照明は間接照明である。

三百十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

三百十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

三百十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

三百十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

三百十五、荷物室の照明は間接照明である。

三百十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

三百十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

三百十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

三百十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

三百二十、荷物室の照明は間接照明である。

三百二十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

三百二十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

三百二十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

三百二十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

三百二十五、荷物室の照明は間接照明である。

三百二十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

三百二十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

三百二十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

三百二十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

三百三十、荷物室の照明は間接照明である。

三百三十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

三百三十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

三百三十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

三百三十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

三百三十五、荷物室の照明は間接照明である。

三百三十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

三百三十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

三百三十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

三百三十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

三百四十、荷物室の照明は間接照明である。

三百四十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

三百四十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

三百四十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

三百四十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

三百四十五、荷物室の照明は間接照明である。

三百四十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

三百四十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

三百四十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

三百四十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

三百五十、荷物室の照明は間接照明である。

三百五十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

三百五十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

三百五十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

三百五十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

三百五十五、荷物室の照明は間接照明である。

三百五十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

三百五十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

三百五十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

三百五十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

三百六十、荷物室の照明は間接照明である。

三百六十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

三百六十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

三百六十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

三百六十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

三百六十五、荷物室の照明は間接照明である。

三百六十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

三百六十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

三百六十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

三百六十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

三百七十、荷物室の照明は間接照明である。

三百七十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

三百七十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

三百七十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

三百七十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

三百七十五、荷物室の照明は間接照明である。

三百七十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

三百七十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

三百七十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

三百七十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

三百八十、荷物室の照明は間接照明である。

三百八十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

三百八十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

三百八十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

三百八十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

三百八十五、荷物室の照明は間接照明である。

三百八十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

三百八十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

三百八十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

三百八十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

三百九十、荷物室の照明は間接照明である。

三百九十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

三百九十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

三百九十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

三百九十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

三百九十五、荷物室の照明は間接照明である。

三百九十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

三百九十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

三百九十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

三百九十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

四百、荷物室の照明は間接照明である。

四百一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

四百二、荷物室の換気は窓の開閉による。

四百三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

四百四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

四百五、荷物室の照明は間接照明である。

四百六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

四百七、荷物室の換気は窓の開閉による。

四百八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

四百九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

四百十、荷物室の照明は間接照明である。

四百十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

四百十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

四百十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

四百十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

四百十五、荷物室の照明は間接照明である。

四百十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

四百十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

四百十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

四百十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

四百二十、荷物室の照明は間接照明である。

四百二十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

四百二十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

四百二十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

四百二十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

四百二十五、荷物室の照明は間接照明である。

四百二十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

四百二十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

四百二十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

四百二十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

四百三十、荷物室の照明は間接照明である。

四百三十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

四百三十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

四百三十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

四百三十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

四百三十五、荷物室の照明は間接照明である。

四百三十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

四百三十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

四百三十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

四百三十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

四百四十、荷物室の照明は間接照明である。

四百四十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

四百四十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

四百四十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

四百四十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

四百四十五、荷物室の照明は間接照明である。

四百四十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

四百四十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

四百四十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

四百四十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

四百五十、荷物室の照明は間接照明である。

四百五十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

四百五十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

四百五十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

四百五十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

四百五十五、荷物室の照明は間接照明である。

四百五十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

四百五十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

四百五十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

四百五十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

四百六十、荷物室の照明は間接照明である。

四百六十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

四百六十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

四百六十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

四百六十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

四百六十五、荷物室の照明は間接照明である。

四百六十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

四百六十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

四百六十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

四百六十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

四百七十、荷物室の照明は間接照明である。

四百七十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

四百七十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

四百七十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

四百七十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

四百七十五、荷物室の照明は間接照明である。

四百七十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

四百七十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

四百七十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

四百七十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

四百八十、荷物室の照明は間接照明である。

四百八十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

四百八十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

四百八十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

四百八十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

四百八十五、荷物室の照明は間接照明である。

四百八十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

四百八十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

四百八十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

四百八十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

四百九十、荷物室の照明は間接照明である。

四百九十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

四百九十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

四百九十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

四百九十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

四百九十五、荷物室の照明は間接照明である。

四百九十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

四百九十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

四百九十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

四百九十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

五百、荷物室の照明は間接照明である。

五百一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

五百二、荷物室の換気は窓の開閉による。

五百三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

五百四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

五百五、荷物室の照明は間接照明である。

五百六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

五百七、荷物室の換気は窓の開閉による。

五百八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

五百九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

五百十、荷物室の照明は間接照明である。

五百十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

五百十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

五百十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

五百十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

五百十五、荷物室の照明は間接照明である。

五百十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

五百十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

五百十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

五百十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

五百二十、荷物室の照明は間接照明である。

五百二十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

五百二十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

五百二十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

五百二十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

五百二十五、荷物室の照明は間接照明である。

五百二十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

五百二十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

五百二十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

五百二十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

五百三十、荷物室の照明は間接照明である。

五百三十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

五百三十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

五百三十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

五百三十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

五百三十五、荷物室の照明は間接照明である。

五百三十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

五百三十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

五百三十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

五百三十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

五百四十、荷物室の照明は間接照明である。

五百四十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

五百四十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

五百四十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

五百四十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

五百四十五、荷物室の照明は間接照明である。

五百四十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

五百四十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

五百四十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

五百四十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

五百五十、荷物室の照明は間接照明である。

五百五十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

五百五十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

五百五十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

五百五十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

五百五十五、荷物室の照明は間接照明である。

五百五十六、荷物室の暖房は排気管を利用する。

五百五十七、荷物室の換気は窓の開閉による。

五百五十八、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

五百五十九、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

五百六十、荷物室の照明は間接照明である。

五百六十一、荷物室の暖房は排気管を利用する。

五百六十二、荷物室の換気は窓の開閉による。

五百六十三、荷物室の温度は摂氏十五度乃至二十度に保つ。

五百六十四、荷物室の出入口は左右に一箇所づゝある。

五百六十五、